

広島・長崎ポスター展 2026 開会式

2026年3月9日、内藤大使は、主賓のメアリー・カチャレ外務・国際協力省次官（法務担当）とともに、リロングウェ市議会議事堂にて「広島・長崎ポスター展 2026」の開会式を行いました。開会式にはリロングウェ市長のピーター・アレックス・バンダ市議、ムクウィチ中学校の生徒と教職員、外交団のメンバー、リロングウェ市議会の職員が出席しました。

内藤大使は挨拶の中で、この悲劇を通じて日本が核兵器のない世界を引き続き訴え続けることを来場者に改めて訴えました。

開会式の最後に、ムクウィチ中学校の生徒と教職員は、展覧会訪問の記念として、また核兵器のない世界と恒久平和を願い、折り鶴作りを体験しました。

本展覧会は2026年3月9日（月）から3月13日（金）まで、リロングウェ市議会議事堂にて一般公開され、140人近くの市民が訪れました。

大使スピーチ全文：<https://www.mw.emb-japan.go.jp/files/100991431.pdf>



内藤大使によるスピーチ



カチャレ次官とバンダ市長



ポスターを見学する大使とカチャレ次官



ムクウィチ中学校の生徒と



折り紙体験